



【台湾ドルの動き】

2025年8月の台湾ドル（TWD）は、前月の対米ドルでの上昇基調が一服し、8月末には1ドル＝30.7元台まで下落しています。主な要因は、外国人投資家の台湾株大量売却による資本流出や、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め観測で米ドルが強含んだことが背景とみられます。これを受けて、一時的な台湾元安は輸出競争力を高め半導体など主力輸出産業に追い風となる一方、輸入物価上昇によるインフレ圧力や投資マインド悪化のリスクも孕んでいます。

【輸出好調による GDP 成長予測を上方修正】

2025年8月、行政院主計総処は2025年のGDP成長率予測を4.45%へ上方修正し、5月時点の予測（3.1%）から1.35ポイント引き上げました。これは2025年上半期の経済成長率が6.75%と予想以上に高かったこと、特に7月の輸出が前年同月比42%増と大爆発的に伸びたことが要因です。

【営利事業所得税（法人税）の中間納税について】

台湾では、決算期から9か月目の月に、中間納税が発生します。基本的に前年度納付額の半額を納税することになります。台湾の一般的な企業は、決算期を12月とする場合が多いため、9月において中間納税が発生することになります。納税漏れのないよう注意が必要です。

【祝日の追加について】

総統府は5月28日に記念日及節日實施條例を發表し、5月1日労働節、9月28日孔子誕辰紀念日（教師節）、10月25日台湾光復暨金門古寧頭大捷紀念日（光復節）、12月25日行憲紀念日を祝日としました。そのため、今年は2024年と比較して祝日が4日増えています。今月は9月28日が教師節となり休みになりますが、日曜日のため、29日（月）が振替休日となります。

フェアコンサルティング台湾

（正緯管理顧問股份有限公司）

台北市松山區敦化北路167號11樓C室 宏國大樓

電話：+886-2-2717-0318

担当：坂下（SAKASHITA）

yu.sakashita@faircongrp.com

「FCG 中華圏 ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。